

## II 離床を行うまでの基礎知識

### II -8. 嘂下機能・栄養状態

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□ II-8.1 嚙下機能	□ II-8.1.1 嚙下機能に関連する解剖について理解している	□ 軟口蓋の位置について説明できる	R-19 嚙下	○	
		□ 喉頭蓋の位置について説明できる		○	
		□ 食道と気管の位置関係について説明できる		○	
	□ II-8.1.2 摂食・嚙下のメカニズムについて理解している	□ 摂食・嚙下の5つの期（先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期）について説明できる	R-19 嚙下	◇	
		□ 誤嚙について説明できる	フィジ P212	◇	
		□ 嚙下時の舌の役割について説明できる	フィジ P117-118 P121-122	☆	
		□ 嚙下時の歯・義歯の役割について説明できる	フィジ P119-120 P212	☆	
		□ 嚙下反射・咳嗽反射に関する物質について説明できる		☆	
		□ 嚙下と呼吸の関係について説明できる	フィジ P115-116	☆	
	□ II-8.1.3 食事形態・摂取量について理解している	□ 食事形態について説明できる	R-19 嚙下	○	
		□ 食事摂取量について説明できる	フィジ P212	○	
		□ 食事形態や食事摂取量をアップさせる際の目安について説明できる。	フィジ P212	☆	
	□ II-8.1.4 嚙下機能と姿勢の関係について理解している	□ 嚙下機能と姿勢の関係について説明できる	R-19 嚙下 フィジ P212-213	◇	
		□ 頸部の可動域制限が嚙下機能に与える影響について説明できる。		◇	

大項目	中項目	小項目	確認印	中項目の点数はP102に転記して下さい
/ 1	/ 4	/ 14		←